



日 時：2019年12月26日（木）15:00～16:45

場 所：同志社大学東京オフィス会議室

〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル3階

[https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/tokyo\\_o.html](https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/tokyo_o.html)

発題者：古田克利

関西外国語大学 英語キャリア学部 准教授

同志社大学 STEM人材研究センター 研究員

テーマ：技術者に能力限界はあるのか？

技術者が第一線で活躍できる年齢には、一定の上限があるとする言説がある。これまでの研究から、一貫して日本の技術者は、40歳前後になれば技術者としての能力限界が訪れると意識していることが明らかになっている。しかし、一方で、40歳を超えて活躍する技術者が存在する。実際に、40歳以上の技術者のほとんどは、人事考課において標準以上の評定を得ているとする報告もある。もっとも、これまでの研究が着目してきたのは、能力の限界が訪れる年齢に関する意識であって、特定の年齢における能力限界の有無ではない。つまり、年齢と技術者の能力との関連が明らかになっているわけではないのである。そこで本報告では、年齢に加え、職場環境、産業構造と、技術者の能力限界感との関係を考察する。

## 司会

中田喜文 同志社大学 STEM人材研究センター長

## コメンテーター

下村英雄 労働政策研究・研修機構 主任研究員

島村泰子 株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ

エグゼクティブ・コンサルタント

主 催：同志社大学STEM人材研究センター（RISTEM）

参加申込：[ristem2019@gmail.com](mailto:ristem2019@gmail.com)（氏名、所属をメールにてお知らせください）